

当院で骨塩定量検査を行った患者さんの情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることにより行います。匿名化が図られ個人は特定されず、また過去の診療記録情報の収集と解析にとどまるため、対象者には直接の不利益はありません。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象患者さんのお一人お一人からの直接のご同意に代えて、研究内容の情報を公開することをもって実施可能とされております。

この研究に関するお問い合わせ、ならびに、この研究内容の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題名】 肝硬変の重症度が DEXA 法による骨密度および骨格筋量に与える影響

【研究部署】 神戸朝日病院 診療放射線科 骨塩定量検査室

【研究責任者】 小林 久人（診療放射線科部長）

【研究の目的】

肝硬変患者は、骨粗鬆症やサルコペニアを合併する事例が多いといわれています。本邦の肝硬変患者は高齢化が進んでおり、薬物・食事・運動等の治療介入に対し慎重に検討する必要があります。しかし、肝硬変患者の重症度が骨密度および骨格筋量指数に与える影響を比較した報告はありません。当院は兵庫県から「肝疾患専門医療機関」として指定を受けており、軽度～重度の肝疾患患者を多く扱っているため、現状の分析が必要と考えました。肝硬変の重症度が骨密度および骨格筋量指数に与える影響について Child-Pugh 分類を用いて比較することを本研究の目的とします。

【研究方法】

対象となる患者は下記の通りです。

- ・ 体内インプラントが無く、骨塩定量検査かつ体組成計測を行った患者様

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接と特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は下記お問合せ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

神戸朝日病院 診療放射線科 骨塩定量検査室

診療放射線科 米山未華

〒653-0801 神戸市長田区房王寺町 3-5-25

TEL:078-612-5151